

小白山直登 このま 實業家、政治家、歌人。明治十九年四月二十六日
福島縣生れ、昭和二十四年八月、二十八日没（八六―九四）。東京帝國
大學法科大學英法科卒。大正元年滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）入社、
昭和十八年總裁。この間昭和製鋼所社長、鐵鋼統制會理事長、滿洲國
經濟顧問となる。二十年運輸通信相、運輸相就任。短歌は與謝野寛の
節事し、その主宰誌『冬之相』に據つた。

歌集『獄心行』（小白山信子合著、大正十二年四月大連・無刊記、
再版・昭和五年一月、二十五年大連・自刊）、『黄塵』（昭和六年一月
五日大阪屋號書店）、『雲移る』（昭和十一年十一月、二十五年自刊、
益文堂書店）、『くろがね』（昭和十七年四月五日自刊、冬相發行
所）等。